
平成30年度
全国学力・学習状況調査

調査結果報告書



旭川市教育委員会

はじめに

旭川市教育委員会では、児童生徒の確かな学力の育成に向け「平成30年度旭川市確かな学力育成プラン」を策定し、「授業改善」、「落ち着いた学習環境づくり」及び「望ましい習慣づくり」の3つの指導のポイントを示して各学校における児童生徒の実態に応じた取組を進めてまいりました。

このような中、全国学力・学習状況調査に関する実施要領に示されている「調査の目的」及び「調査結果の取扱いに関する配慮事項」において、自らの教育及び教育施策の改善、児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることや、調査結果の公表に関して、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であるとされていることなどを踏まえ、本調査の結果報告書をまとめました。

本報告書は、昨年度同様、調査結果について、一つ一つの設問や質問項目を詳細に分析するとともに、児童生徒の実態を把握し、成果や課題を明らかにしました。

また、児童生徒一人一人の学力向上を図ることが大切であるとの考えの下、各学校の指導や取組の充実に資する「指導の改善策」を本報告書とは別に作成したところです。

このため、今年度は、全国学力・学習状況調査に係る資料として、「調査結果報告書」の1冊、また、結果分析から浮かび上がった課題に対する改善策を示した「指導の改善策 国語編」、「指導の改善策 算数・数学編」、「指導の改善策 理科編」、「指導の改善策 学習習慣・生活習慣編」の4冊、さらに、本市児童生徒の実態に応じた国語や算数・数学、理科の学習プリント等を掲載した「旭川市学力向上学習プリント集」の合計6冊を作成し、別紙の「平成30年度全国学力・学習状況調査 調査結果報告書・指導の改善策・旭川市学力向上学習プリント集」にその内容をまとめました。

各学校において、本報告書等を御活用いただき、「平成30年度旭川市確かな学力育成プラン」に基づく自校の取組について分析を行い、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立していただくよう期待しています。

平成30年10月

旭川市教育委員会教育長

赤 岡 昌 弘

〔目 次〕

1 調査の概要	… 1
(1) 調査の目的	
(2) 調査の対象	
(3) 調査の内容	
①児童生徒に対する調査	
②学校に対する質問紙調査	
(4) 調査日	
(5) 調査に参加した学校数，児童・生徒数	
2 教科に関する調査結果の概要	… 2
(1) 小学校各教科	
(2) 中学校各教科	… 3
(3) 小学校国語A	… 4
(4) 小学校国語B	… 5
(5) 小学校算数A	… 6
(6) 小学校算数B	… 7
(7) 小学校理科	… 8
(8) 中学校国語A	… 9
(9) 中学校国語B	…10
(10) 中学校数学A	…11
(11) 中学校数学B	…12
(12) 中学校理科	…13
※ 各教科の調査結果を踏まえた指導の改善策については，別冊 の「指導の改善策 国語編，算数・数学編，理科編」を参照	
3 学習習慣・生活習慣の概要	…14
(1) 質問項目の分類の考え方	…14
(2) 分析結果の整理	
(3) クロス集計	
(4) 旭川の子どもたちの概況	…15
(5) 小学校	…16
①「授業改善」について	
②「落ち着いた学習環境づくり」について	…17
③「望ましい習慣づくり」について	
(6) 中学校	…18
①「授業改善」について	
②「落ち着いた学習環境づくり」について	…19
③「望ましい習慣づくり」について	
※ 児童生徒質問紙調査結果を踏まえた指導の改善策について は，別冊の「指導の改善策 学習習慣・生活習慣編」を参照	

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

- 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒

(3) 調査の内容

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

小学校：国語A・B，算数A・B，理科

中学校：国語A・B，数学A・B，理科

A問題（主として「知識」に関する問題）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

B問題（主として「活用」に関する問題）

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など。

イ 質問紙調査

学習意欲や学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日

平成30年4月17日（火）

(5) 調査に参加した学校数，児童・生徒数

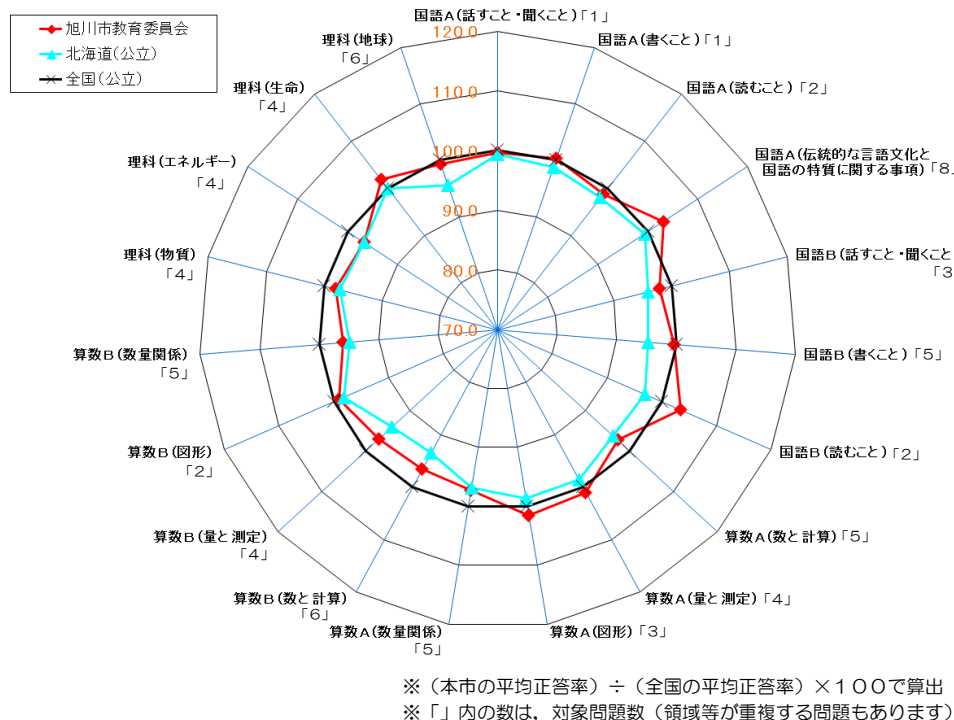
校 種	学校数	人 数
小学校	51校	2,511人
中学校	27校	2,589人

※児童・生徒数は、教科に関する調査及び質問紙調査のうち、回収した解答（回答）用紙が最も多かったもの

2 教科に関する調査結果の概要

(1) 小学校各教科

<全教科領域等別の状況>



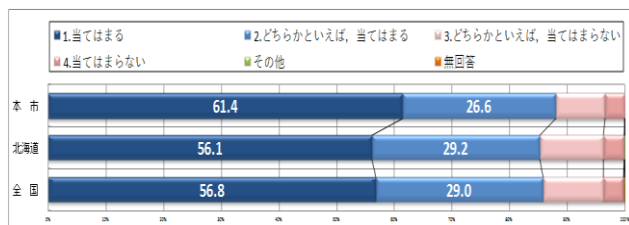
全19領域のうち、全ての領域において全道を上回っており、10領域において全国と同等又は上回っている。

国語Aでは「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「読むこと」、算数Aでは「量と測定」、「図形」、理科では「生命」の領域等を得意としている。

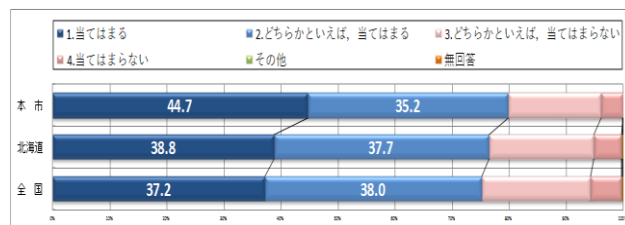
算数Aでは「数と計算」、「数量関係」、算数Bでは「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」、理科では「エネルギー」の領域を苦手としている。

<算数・理科の授業に関わる児童質問紙調査結果>

○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

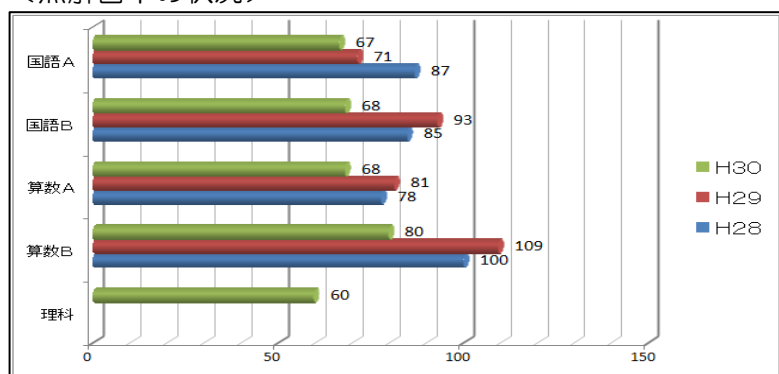


○理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。



○「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」や、「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」の質問項目に肯定的な回答をしている児童の割合は、全道や全国と比べて高い傾向がある。

<無解答率の状況>



※ (本市の各設問の無解答率の平均) ÷ (全国の各設問の無解答率の平均) × 100 で算出

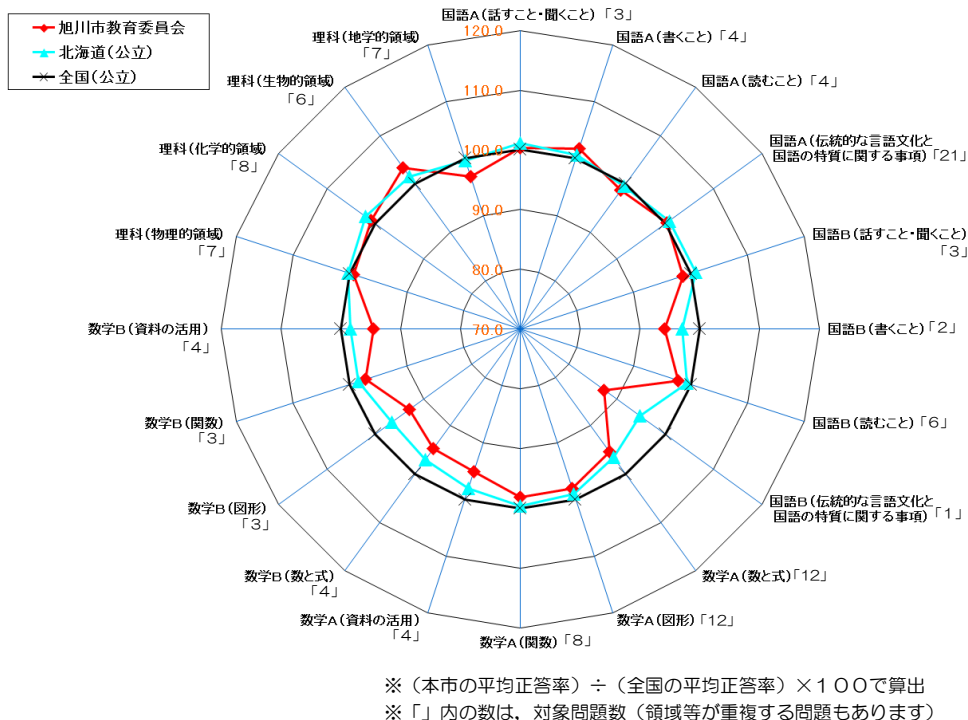
○平成30年度は、全ての教科で無解答率が低い。

○平成30年度は、平成28・29年度と比較すると、国語、算数の無解答率が低くなっている。

●平成30年度の中で、算数Bの無解答率が若干高くなっている。

(2) 中学校各教科

<全教科領域等別の状況>



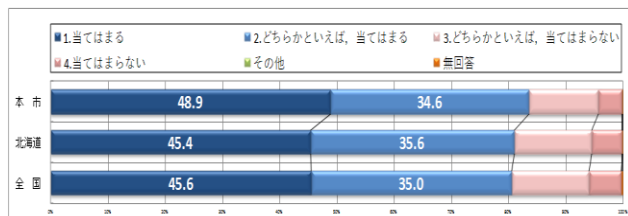
全20領域のうち、7領域において全道と同等又は上回っており、6領域において全国と同等又は上回っている。

国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科では「化学的領域」、「生物的領域」の領域等を得意としている。

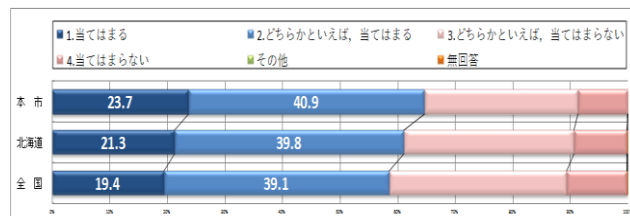
国語Bでは「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Aでは「数と式」、「資料の活用」、数学Bでは、「数と式」、「図形」、「資料の活用」の領域等を苦手としている。

<数学・理科の授業に関わる生徒質問紙調査結果>

○数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

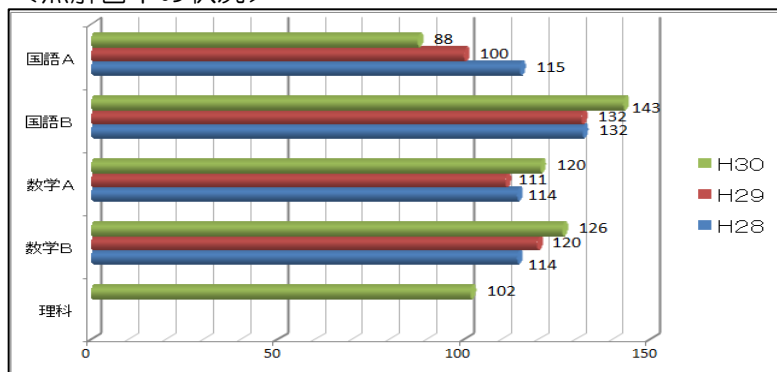


○理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。



○「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」や、「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」の質問項目に肯定的な回答をしている生徒の割合は、全道や全国と比べて高い傾向がある。

<無解答率の状況>



○平成30年度は、国語Aの無解答率が低い。

○理科の無回答率は全国並である。

●平成30年度は、平成28・29年度と比較すると、国語B、数学A・Bで無解答率が高くなっている傾向がある。

※(本市の各設問の無解答率の平均)÷(全国の各設問の無解答率の平均)×100で算出

(3) 小学校国語A (全12問)

◇相当数の児童ができている設問

- 1 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す【話すこと・聞くこと】〔90.4〕
 6 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 8 イウ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う『せつ膺』『しょう毒』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔82.8〕〔83.2〕

相当数の児童が できている設問例

- 6 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う
 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

正答率
90.6%

「心を打たれる」という表現の意味アと使い方イに入る内容として、最も適切なものを次の1から4までの中からそれぞれひとつ選んで、その番号を書きましょう。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ア | イ |
| 1 一つのことに集中する。 | 1 オークストラの演奏をきき、心を打たれる。 |
| 2 遠りよする。 | 2 地域の発展のために、長い間、心を打たれる。 |
| 3 感動する。 | 3 相手に失礼のないように心を打たれる。 |
| 4 あれこれと心配する。 | 4 同級生に心を打たれることなく相談する。 |

<正答の条件>

・アに「3 感動する。」、イに「1 オークストラの演奏をきき、心を打たれる。」を選択している。

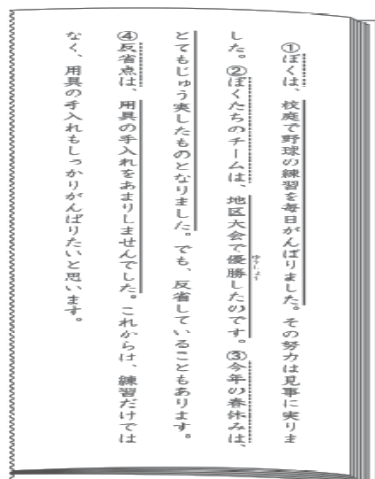
◆課題のみられた設問

- 5 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 7 相手や場面に応じて適切に敬語を使う【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔55.2〕
 8 オ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う『せつ極的』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔58.0〕

課題のみら れた設問例

- 5 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く
 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

正答率
41.7%



-----部と -----部との
 つながりが合っていない文の番
 号を、①から④までの中からひ
 とつ選んで書きましょう。
 また、-----部はそのままに
 して、文の意味が変わらないよ
 うに、選んだ文を正しく書き直
 しましょう。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- ・文章の中の主語と述語との関係に注意する。(小1, 2)
- ・書いた文章を読み返し、文章の間違いを正す。(小3, 4)

<中学校へのつながり>

- ・書いた文章を読み返し、表記や語句の用法などを確かめて、分かりやすい文章にする。(中1)

<無解答率>

- ・5.5%であり、A問題の中で最も高い。

<正答の条件>

- ・④を選択し、「反省点は」の主語を受けて照応する述語に書き直している。

<多く見られた誤答例>

- ・①や③を選択するなど、主語と述語が照応していない文を選択することができない。
- ・④を選択するが、「反省点は」の主語を受けて照応する述語に書き直すことができない。

<正答例>

- ・反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。

本課題の改善策については、
 「指導の改善策」国語編 P11へ

(5) 小学校算数A (全14問)

◇相当数の児童ができている設問

- 1 (2) 針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。
【数と計算】〔71.3〕
- 4 (1) 面積がそろっている㊸と㊹の2つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ。【量と測定】〔90.0〕
- 5 (1) 角㊿の角の大きさが、何度であるかを選ぶ【量と測定】

相当数の児童が できている設問例

5 (1) 角㊿の角の大きさが、何度であるかを選ぶ【量と測定】

正答率
94.4%

図1のように、円の中心である点アと円周の上の点イを直線で結び辺アイとし、点アと円周の上の点ウを直線で結び辺アウとして、これらの辺がつくる角を、角㊿としました。

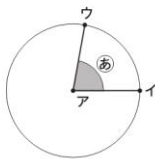


図1

図2のように、辺アウを矢印の向きに動かして角㊿の角度を大きくしていきます。

図3のように、辺アイと辺アウが一直線になったときの角を、角㊻とします。また、図4のときの角を、角㊼とします。

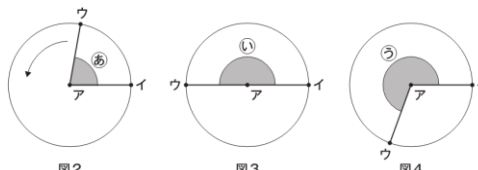
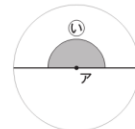


図2

図3

図4

(1) 左ページの図3のときの角㊻の角度は何度ですか。下の1から5までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



1 0° 2 90° 3 180° 4 270° 5 360°

<正答の条件>

・「3」と解答する。

◆課題のみられた設問

- 1 (1) 針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く【数と計算】【数量関係】〔58.9〕
- 2 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ【数と計算】〔36.5〕
- 4 (2) ㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ【量と測定】〔51.8〕
- 7 (2) 円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ【図形】【数量関係】〔54.7〕
- 8 200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ【数量関係】

課題のみら れた設問例

8 200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ【数量関係】

正答率
53.5%

ある会場に子どもたちが集まりました。

集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。

小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.4% 2 2.5% 3 40% 4 80%

<正答の条件>

・「3」と解答する。

<多く見られた誤答例>

- ・基準量と比較量を正しく捉えることができず、「 $200 \div 80$ 」と計算して2.5を選んでいる。
- ・0.4を選ぶなど、百分率を用いて表すことができていない。

<無解答率>

・3.1%であり、A問題の中で2番目に高い。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- ・基準量と比較量を正しく捉え、割合が比較量÷基準量で求めることができることを理解する。
- ・基準量を100として、それに対する割合で表す方法が百分率であることを理解する。

<中学校へのつながり>

- ・数量の関係を文字式に表す。(中1)
- ・相対度数の必要性和意味を理解する。(中1)

本課題の改善策については、
「指導の改善策」算数・数学編 P4へ

(6) 小学校算数B (全10問)

◇相当数の児童ができている設問

1 (1) 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ。

【図形】〔72.4〕

2 (1) 全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く【数と計算】【量と測定】【数量関係】

相当数の児童が できている設問例

2 (1) 全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを
書く【数と計算】【量と測定】【数量関係】

正答率
72.0%

たくみさんたちは、「1年生と仲よくなる会」で玉入れゲームをすることにし、その計画を立てています。

まず、玉入れゲームの説明をまとめました。

玉入れゲームの説明

- ・ 同じ人数の2チームに分かれる。
- ・ 合同とともに、それぞれのかごに玉を投げ入れる。
- ・ 落ちている玉は何回拾って投げてもよい。
- ・ 玉入れゲームは2回行い、入った玉の個数を1回ごとに数え、その合計の数が多いほうが勝ち。



次に、たくみさんたちは、下のような計画を立てました。

【たくみさんたちの計画】

全体で使える時間				
ルールの説明	玉入れゲーム 1回目	中休み	玉入れゲーム 2回目	結果発表と片付け
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で使える時間は20分。 ・ 玉入れゲームを行う回数は2回。 ・ 1回の玉入れゲームの時間は3分。 ・ 中休みの時間は2分。 ・ 結果発表と片付けの時間は、あわせて7分。 				

(1) 【たくみさんたちの計画】の「ルールの説明」に使える時間は、何分ですか。答えを書きましょう。

<正答の条件>

・「5」と解答する。

◆課題のみられた設問

1 (2) 一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを書く【量と測定】【図形】〔46.1〕

2 (2) 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための球を投げる時間を、表に整理して求める【数と計算】【量と測定】【数量関係】〔44.7〕

3 (1) メモ1とメモ2はそれぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているかを書く【数量関係】

3 (2) 棒グラフと帯グラフから読み取ったことをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ【数量関係】〔23.2〕

5 (1) 横の長さが7mの黒板に輪飾りをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く【数と計算】【量と測定】〔40.8〕

課題のみら れた設問例

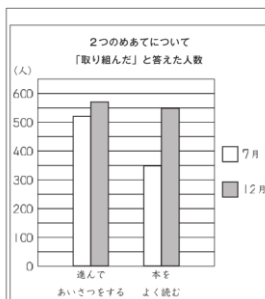
3 (1) メモ1とメモ2はそれぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているかを書く【数量関係】

正答率
18.4%

しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。

しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下のグラフに表しました。

しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。



- メモ1**
- ・「進んであいさつをする」のほうが多い
 - ・「本をよく読む」のほうが多い
- メモ2**
- ・「進んであいさつをする」のほうが多い
 - ・「本をよく読む」のほうが多い

えりかさんとまさるさんは、しおりさんが書いたメモについて話し合っています。



メモ1を見ると「進んであいさつをする」のほうが多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが多いですね。



メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが多いですが、メモ2では、「本をよく読む」のほうが多いのは、なぜですか。



メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについて何が着目して書いているからですか。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについて何が着目して書かれています。

(1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

<無解答率>

・13.7%であり、B問題の中で2番目に高い。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

・複数の観点で示された情報とグラフを関連付けて解釈する。(小3)

<中学校へのつながり>

・資料を表やグラフに整理し、資料の傾向を読み取る。(中1)

<正答の条件>

・次の①と②の全てを書いている。

- ① メモ1が12月の人数に着目して書かれていることを表す言葉や数
- ② メモ2が7月の人数と12月の人数の差に着目して書かれていることを表す言葉や数

<多く見られた誤答例>

・①、②のどちらかのみで、両方の条件について記述できていない。

本課題の改善策については、「指導の改善策」算数・数学編 P8へ

(7) 小学校理科 (全16問)

◇相当数の児童ができている設問

- 1 (1) 野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ【生命】〔83.9〕
 1 (3) 腕を曲げることで骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く【生命】〔84.3〕
 2 (1) 流されてきた土や石を積もらせる水の動きを表す言葉を選ぶ【地球】〔83.1〕
 4 (2) 海水と水道水を区別するために、2つの実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ【物質】

相当数の児童が できている設問例

- 4 (2) 海水と水道水を区別するために、2つの実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ【物質】

正答率
88.2%

【たかしさんのまとめ】

<鳥のつばさと人の手やうでのつくり>

同じところ

○つばさやうでのつけ根からのびる骨は1本で、その骨から2本の骨がつながっている。
 ○鳥のつばさにも人のうでにも、つばさを折りたたんだりうでを曲げたりすることができる骨と骨のつなぎ目がある。

ちがうところ

○骨の数は、鳥より人のほうが多い。
 ○骨と骨のつなぎ目の数は、鳥より人のほうが多い。

【たかしさんのまとめ】に書かれている「うでをまげたりすることができる骨と骨のつなぎ目」のことを何といいますか。そのことを書きましょう。

<正答の条件>

- ・「関節」又は「かんせつ」又は「かん節」又は「関節」と解答している。

◆課題のみられた設問

- 2 (3) 流れる水の働きで、一度に流す水の量と棒の様子との関係から大雨が降って流れる水の量が増えた時の地面の削られ方を選び、選んだわけを書く【地球】〔19.9〕
 3 (2) 電流の流れ方について、他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ【エネルギー】〔46.0〕
 3 (3) 電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ【エネルギー】〔56.7〕
 3 (4) 目的の時間帯にモーターを回すため、太陽の動きに合わせ、箱の中の光電池の置き方を選ぶ【エネルギー】〔41.5〕
 4 (3) 食塩を水に溶かした時の全体の重さを選ぶ【物質】
 4 (4) 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く【物質】〔38.4〕

課題のみら れた設問例

- 4 (3) 食塩を水に溶かした時の全体の重さを選ぶ【物質】

正答率
35.9%

海水と同じかさの食塩水をつくることにしました。



海水400mLには12gの食塩がとけているそうだよ。

400mLの水を用意して、12gの食塩をとかすことにしました。
 そこで、できた食塩水の量をメスシリンダーではかってみると408mLになっていました。



これだと海水408mLに12gの食塩がとけていることになって、海水と同じかさになっていないね。

このときにできた食塩水の重さはどうなっていますか。下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

①400gになる。 ②408gになる。 ③412gになる。 ④420gになる。

<正答の条件>

- ・「③ 412gになる。」を選択している。

<多く見られた誤答例>

- ・食塩水の体積が408mLであることから、食塩水の重さを、「② 408gになる。」を選択している。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- ・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないという物の溶け方の規則性について理解する。(小5)
- ・学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活に適用する。

<中学校へのつながり>

- ・質量パーセント濃度の意味を理解し、溶質、溶媒、溶液の質量を求める計算をする。(中1)

本課題の改善策については、
「指導の改善策」理科編 P6へ

(8) 中学校国語A (全32問)

◇相当数の生徒ができている設問

- 1 話の論理的な構成や展開などに注意して聞く【話すこと・聞くこと】〔86.8〕
 2一 書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する【書くこと】〔89.6〕
 3一 文脈の中における語句の意味を理解する【書くこと】〔87.6〕
 3二 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する【書くこと】〔81.9〕
 7一 語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える【書くこと】〔85.8〕
 7二 接続詞の働きについて理解する【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔87.7〕
 8一 文脈に即して漢字を正しく書く『夕ハねる』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔84.5〕
 8二 1, 2, 3 文脈に即して漢字を正しく読む『模型』『凍る』『磨く』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 8三 イ, ウ, キ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う『習性』『おっしゃった』『一方』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔93.7〕〔83.1〕〔95.4〕
 8四 1 慣用句の意味を理解する【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔95.2〕
 8六 1 古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔88.6〕
 8六 3 古典に表れたものの見方や考え方を理解する【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔81.6〕

相当数の生徒が できている設問例

- 9二 文脈に即して漢字を正しく読む『模型』『凍る』『磨く』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

正答率
 1 95.2%
 2 98.3%
 3 99.1%

次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでいてねいに書きなさい。

- 1 模型を作る。
- 2 池の水が凍る。
- 3 技を磨く。

<正答の条件>

- ・1「もけい」、2「こお」、3「みが」と記述している。

◆課題のみられた設問

- 5二 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える【読むこと】〔57.2〕
 8三 工 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う『せきをきったように』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔28.5〕
 8四 2 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 8五 行書の基礎的な書き方を理解して書く【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔51.3〕

課題のみら れた設問例

- 8四 2 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

正答率
 22.3%

四 1 「心を打たれる」の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中からひとつ選びなさい。

- 1 遠慮する。
- 2 感動する。
- 3 ひとつのことに集中する。
- 4 あれこれと心配する。

四 2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くこと。

<正答の条件>

- ・次の条件を満たして解答している。
 - ①「心を打たれた」の正しい意味を理解している。(設問四1で正答している)
 - ②「心を打たれた」の主語を明確にしている。
 - ③「誰(何)」のことに「心を打たれた」のか分かるように書いている。
 - ④「どのようなこと」に「心を打たれた」のか分かるように書いている。
 - ⑤一文で書いている。

<多く見られた誤答例>

- ・「心を打たれた」の主語を明確にして書いていない。

<無解答率>

- ・5.4%であり、A問題の中で6番目に高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・文章の中の主語と述語との関係に注意する。(小1, 2)
- ・文章の中での語句と語句との関係を理解して書く。(小3, 4)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・目的に応じて、文の成分の順序や照応、文の構成等について考えて、適切な文を書く。(中2)
- ・慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、語彙を豊かにする。(中3)

本課題の改善策については、
 「指導の改善策」国語編 P11へ

(9) 中学校国語B (全9問)

◇相当数の生徒ができています設問

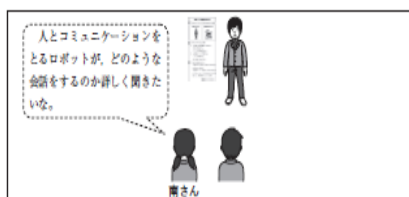
- 2一 質問の意図を捉える【話すこと・聞くこと】〔85.6〕
 2二 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する【話すこと・聞くこと】

相当数の生徒が できています設問例

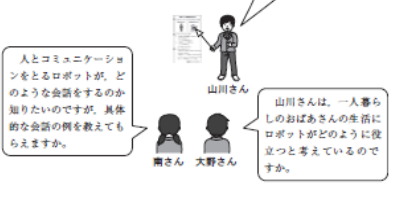
- 2二 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する【話すこと・聞くこと】

正答率
85.5%

南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。実際に話すようにひとつ書きなさい。



これから「ロボットに期待すること」について発表します。
 こちらの資料の③を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。③にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を見えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。
 私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたいなりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。
 ここまでで何か質問はありますか。



<無解答率>

・8.7%であり、B問題の中で3番目に高い。

<正答の条件>

- ・次の条件を満たして解答している。
 - ①資料の内容や【発表・質問の場面の一部】の山川さんの発表に関する適切な質問を書いている。
 - ②南さんと大野さんの質問と重ならない質問を書いている。
 - ③実際に話すように書いている。

◆課題のみられた設問

- 1一 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える【読むこと】〔43.2〕
 1三 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く【書くこと】【読むこと】
 2三 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す【話すこと・聞くこと】〔55.6〕
 3三 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く【書くこと】【読むこと】【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】〔43.0〕

課題のみ られた設問例

- 1三 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く【書くこと】【読むこと】

正答率
16.0%

文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。

<無解答率>

・9.0%であり、B問題の中で2番目に高い。

<正答の条件>

- ・次の条件を満たして記述している。
 - ① 以下のa、bのうち、ひとつ以上の内容を適切に取り上げて書いている。
 - a 「してはならないこと」という意味を表す際に、現在は「無用」以外の表現を用いるようになっている。
 - b 「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があること自体が、分かっていくようになっていく。
 - ② 以下のa、bのうち、ひとつ以上の内容を適切に取り上げて書いている。
 - a 「天地無用」には、「逆にする」に当たる内容が省略されている。
 - b 「逆にすること」に気がないと、「天地無用」の「無用」の意味を、「してはならないこと」以外の意味で捉えてしまう。

<多く見られた誤答例>

- ・文章中の表現を用いて書いているが、目的に応じて文章を読み、必要な内容を捉えていない。
- ・目的に応じて、文章の内容の一部を捉えることはできているが、必要かつ十分な内容を捉えていない。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える。(小5, 6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・文章の中心的部分と付加的な部分とを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりする。(中1)

本課題の改善策については、
「指導の改善策」国語編 P6へ

(10) 中学校数学A (全36問)

◇相当数の生徒ができています設問

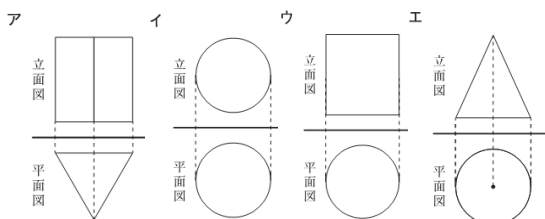
- 1 (1) 数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る【数と式】〔93.6〕
 2 (2) $6a^2b \div 3a$ を計算する【数と式】〔90.6〕 3 (2) 比例式 $x:20=3:4$ を解く【数と式】〔84.3〕
 4 (1) ひし形が線対称な図形か点对称な図形か選ぶ【図形】〔73.5〕
 5 (3) 与えられた円柱の見取り図から、その円柱の投影図を選ぶ【図形】

相当数の生徒が できています設問例

5 (3) 与えられた円柱の見取り図から、その円柱の投影図を選ぶ【図形】

正答率
80.5%

下の図は、円柱の見取り図です。
この円柱の投影図が、右のアからエ
までの中にあります。それを1つ選
びなさい。



<正答の条件>

・「ウ」と解答する。

◆課題のみられた設問

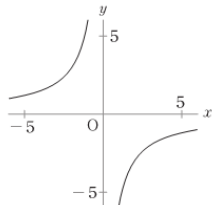
- 1 (2) 絶対値が6である数を書く【数と式】〔60.3〕 1 (3) $2 \times (-5^2)$ を計算する【数と式】〔60.1〕
 1 (4) 気温が何度高くなったかを求める式を選ぶ【数と式】〔53.0〕 2 (1) 数量の大小関係を不等式で表す【数と式】〔38.8〕
 2 (4) 等式 $S=1/2ah$ をaについて解く【数と式】〔47.6〕 4 (2) 折り目の線を作図するための線を選ぶ【図形】〔55.6〕
 5 (4) 底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ【図形】〔55.2〕
 8 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ【図形】〔46.1〕
 9 (2) 比例のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める【関数】〔53.9〕
 9 (3) 反比例のグラフから表を選ぶ【関数】 11 (2) 一次関数 $y=-2x+6$ が表すグラフを選ぶ【関数】〔55.6〕
 12 歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ【関数】〔32.5〕
 15 (1) 1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ【資料の活用】〔37.3〕
 15 (2) 大小2つのサイコロを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める【資料の活用】〔65.8〕

課題のみら れた設問例

9 (3) 反比例のグラフから表を選ぶ【関数】

正答率
50.4%

次の図の曲線は、反比例のグラフを
表しています。このグラフについて、
xとyの関係を示した表が、右のア～
エまでの中にあります。それを1つ選
びなさい。



ア											
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...		
y	...	-2	-3	-6		6	3	2	...		

イ											
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...		
y	...	-2	-4	-6		6	4	2	...		

ウ											
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...		
y	...	2	3	6		-6	-3	-2	...		

エ											
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...		
y	...	2	4	6		-6	-4	-2	...		

<正答の条件>

・「ウ」と解答する。

<多く見られた誤答例>

・反比例を、xの値が1ずつ増加するとyの値は一定の割合で増加(減少)する関係と捉えている。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・伴って変わる二つの数量の関係を表やグラフ用いて表し調べる。(小4)
- ・表を用いて、伴って変わる二つの数量の関係を考察する。(小5)
- ・反比例の関係について知る。(小6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解する。(中1)

本課題の改善策については、
「指導の改善策」算数・数学編 P12へ

(11) 中学校数学B (全14問)

◇相当数の生徒ができている設問

2(1) 「はじめの数」から4をひき、3をかけ、はじめの数をたす計算において、はじめの数が10のときの計算結果を求める【数と式】〔86.8〕

3(1) 列車の運行の様子が直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ【関数】

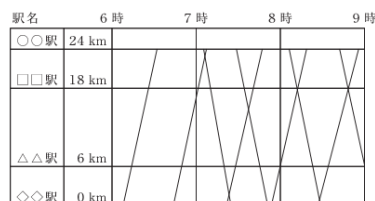
相当数の生徒が できている設問例

3(1) 列車の運行の様子が直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ【関数】

正答率
69.3%

太一さんは、自分の地域を走る列車の写真を撮影し、紹介しようと考えています。そこで、ダイヤグラムを参考に、撮影計画を立てることにしました。

ダイヤグラムとは、右のように、横軸を時刻、縦軸をある駅からの道のりとし、駅と駅間の列車の運行の様子を直線で表したものです。



(1) ダイヤグラムでは、列車の運行の様子が直線で表されています。このように直線で表しているのは、次のように考えているからです。

列車の運行の様子を直線で表しているのは、
上の [] が一定であると考えているからです。

上の [] に当てはまる言葉として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 列車の速さ
- イ 列車の出発時刻
- ウ 列車の到着時刻
- エ 列車の走行距離

<正答の条件>

・「ア」と解答する。

◆課題のみられた設問

- 1(1) アンケート調査で、全校生徒に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める【資料の活用】〔52.8〕
- 1(2) 放送計画で、A～Dの上位4曲のうち、1日目がA、2日目がBになる確率を求める【資料の活用】〔42.1〕
- 1(3) 1年生のみの解答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの理由を説明する【資料の活用】〔32.3〕
- 2(2) はじめの数にどんな整数を入れても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する【数と式】〔34.0〕
- 3(3) 列車アが通ってから列車工が通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する【関数】〔11.2〕
- 4(1) 証明されたことから、新たに分かることを選ぶ【図形】
- 4(2) 四角形EBFDが平行四辺形となることの証明を完成する【図形】〔39.7〕
- 4(3) 正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する【図形】〔40.2〕
- 5(1) s社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く【資料の活用】〔16.3〕
- 5(2) 団体料金の10人分が通常料金の何人分に当たるかを求める計算を解釈し、説明する【数と式】〔9.4〕

課題のみら れた設問例

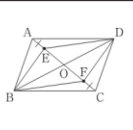
4(1) 証明されたことから、新たに分かることを選ぶ【図形】

正答率
50.2%

優花さんは、次の問題を解きました。

問題

右の図のように、平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとし、線分OA、OC上に、 $AE = CF$ となる点E、Fをそれぞれとり、
このとき、四角形EBFDは平行四辺形になることを証明しなさい。



優花さんの証明

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから、

$$OB = OD \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$OA = OC \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

仮定より、

$$AE = CF \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

②、③より、

$$OA - AE = OC - CF \quad \cdots \cdots \textcircled{4}$$

④より、

$$OE = OF \quad \cdots \cdots \textcircled{5}$$

①、⑤より、

対角線がそれぞれの中点で交わるから、
四角形EBFDは平行四辺形である。

優花さんの証明では、四角形EBFDの対角線がそれぞれの中点で交わることから、四角形EBFDは平行四辺形であることを証明しました。四角形EBFDが平行四辺形であることから新たにわかることを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア $EB = FD$
- イ $ED = EF$
- ウ $OE = OF$
- エ $AE = CF$

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・平行四辺形の性質について理解する。(小4)
- ・図形の合同について理解する。(小5)
- ・演繹的に考え、説明する。(小5)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・証明を読んで新たな性質を見いだす。(中2)
- ・証明の仮定と、証明の過程で用いた事実や得られた結論を整理して捉える。(中2)

<正答の条件>

・「ア」と解答する。

<多く見られた誤答例>

・問題の仮定や証明の過程で根拠として用いられた性質を、新たに分かる性質であると捉えている。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」算数・数学編 P18へ

(12) 中学校理科 (全27問)

◇相当数の生徒ができている設問

- 2(1) 魚屋の商品の中から軟体動物を2種類選ぶ【生物】〔88.5〕
 2(2) 〔低い濃度〕2つの水溶液から濃度が低いものを選ぶ【化学】〔78.0〕
 2(3) アサリが出す砂の量は明るさと関係があるかの実験の考察として適切な言葉を選ぶ。【生物】〔78.3〕
 6(3) 自転車の豆電球とLEDのライトを明るくした時などの電力は大きい小さいかを選ぶ【物理】〔90.8〕
7(3) 地震を太鼓をたたく行為に例えると、S波が届くことは太鼓の何が届くことかを書く【物理・地学】
 8(1) アルミニウムの原子の記号を選ぶ【化学】〔86.0〕
 9(1) 植物の葉などから水蒸気が出る働きを何というかを選ぶ【生物】〔89.7〕

相当数の生徒が できている設問例

- 7(3) 地震を太鼓をたたく行為に例えると、S波が届くことは太鼓の何が届くことかを書く【物理・地学】

正答率
94.4%

緊急地震速報は、P波とS波の伝わる速さの違いを利用しています。ところで、体育大会で太鼓をたたき動きを離れたところから観察すると、動きに対して音が遅れて聞こえるのを経験したことはありませんか。地震と太鼓を関連付けて考えてみましょう。



地震	太鼓
P波が届く	太鼓をたたいた瞬間が見える
S波が届く	太鼓の <input type="text"/> が届く
初期微動継続時間	太鼓をたたいた瞬間が見えてから、太鼓の <input type="text"/> が届くまでの時間



<正答の条件>

- ・伝わる速さの差が引き起こす事象として、音（音色、音響）、音波（波、縦波）、振動（震動、震え、揺れ、響き）のどれかを記述している。

上の表の に適する語句を1つ書きなさい。

◆課題のみられた設問

- 1(1) テレプロンプター（半透明の板）に文字を正しく映すためのタブレットを選ぶ【物理】
 3(1) 台風の資料から予想し、家で観測される風向きを選ぶ【地学】〔36.8〕
 3(3) 台風の進路のシミュレーションから、台風の進路に影響を与えるものは何かを書く【地学】〔47.2〕
 4(2) ガスバーナーの空気量を変えたときの様子を調べる実験において、変えない条件を書く【化学】〔40.8〕
 4(3) 化学反応式を見直して、修正したモデルを書く【化学】〔49.4〕
 7(1) 「地震の揺れの強さ」及び「S波による揺れ」を何というか選ぶ【地学】〔49.9〕
 9(2) 鉢植えの植物が入った密閉した容器の湿度が上昇した原因は、蒸散以外に何が考えられるかを書く【生物】〔19.1〕

課題のみら れた設問例

- 1(1) テレプロンプター（半透明の板）に文字を正しく映すためのタブレットを選ぶ【物理】

正答率
55.6%

図1

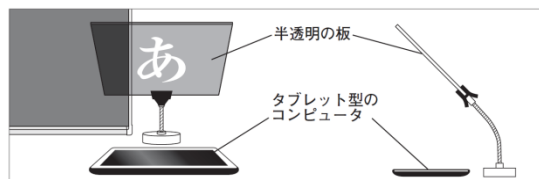
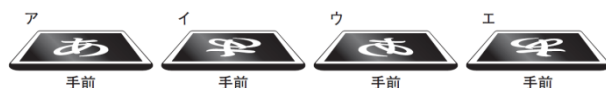


図1のように「あ」を半透明な板に表示したとき、タブレット型コンピュータの画面として適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



<正答の条件>

- ・「イ」を選択している。

<多く見られた誤答例>

- ・「ウ」を選択している。
- ・「エ」を選択している。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・日光は直進し集めたり反射させたりできることについて理解する。（小3）
- ・ものに日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることについて理解する。（小3）
- ・学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活に適用する。

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解する。（中1）

本課題の改善策については、
「指導の改善策」理科編 P10へ

3 学習習慣・生活習慣の概要

(1) 質問項目の分類の考え方

児童生徒に対する質問紙調査の全質問項目（小学校62，中学校59）について，国立教育政策研究所の報告書では，質問項目を8つに分類していますが，この国立教育政策研究所の分類と本市の確かな学力育成プランの3つのカテゴリー（「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」）との関連付けを図り，下の表のように整理しました。

カテゴリー	国立教育政策研究所の分類	質問番号	
1 授業改善	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小	55～57（3問）
		中	52～54（3問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）	小	38～54（17問）
		中	38～51（14問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	小	27～37（11問）
		中	27～37（11問）
	地域や社会に関わる活動の状況等	小	19～26（8問）
		中	19～26（8問）
	各教科の調査時間の適切性	小	58～62（5問）
		中	55～59（5問）
2 落ち着いた学習環境づくり	規範意識，自己有用感等	小	1～6（6問）
		中	1～6（6問）
3 望ましい習慣づくり	学習習慣等	小	10～15（6問）
		中	10～15（6問）
	基本的生活習慣等	小	7～9，16～18（6問）
		中	7～9，16～18（6問）

(2) 分析結果の整理

質問項目に「している」「どちらかといえばしている」など，肯定的な回答をした児童生徒の割合が80%以上のものを「肯定的な回答が高い割合を示した質問事項」とし，肯定的な回答が60%未満のものを「肯定的な回答が低い割合を示した質問事項」として整理しました。

(3) クロス集計

教科に関する調査結果における正答率の高い児童生徒（U層）とそれ以外の児童生徒（E層）の質問紙調査の回答状況を比較し，各教科の正答率と学習状況・生活習慣との相関関係を分析しました。

(4) 旭川の子どもたちの概況

- 授業改善 → ◆
- 落ち着いた学習環境づくり → ■
- 望ましい習慣づくり → ●

小学生

- ◆算数や理科の勉強は大切だと思うよ！
- ◆算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているよ！
- ◆理科の授業で観察や実験を行うことが好きで、その結果から分かることを考えているよ！

- ◆学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしているよ！
- ◆ニュース番組やインターネットのニュースを見ているよ！



- 先生は、よいところを認めてくれるよ！
- 学校のきまりを守っているよ！
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うよ！
- 人の役に立ちたいと思ってるよ！



- 家で宿題に取り組んでいるよ！
- 毎日、同じくらいの時刻に起きているよ！

- ◆算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいとあまり思わないよ。
- ◆理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりあまりしていないよ。
- 学校の授業時間以外に、あまり読書をしていないよ。

中学生

- ◆数学の勉強は大切だと思うよ！
- ◆観察や実験を行うことが好きだよ！
- ◆数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようノートに書いているよ！
- ◆理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察しているよ！

- ◆ニュース番組やインターネットのニュースを見ているよ！



- 先生は、よいところを認めてくれるよ！
- 学校の規則を守っているよ！
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うよ！
- 人の役に立ちたいと思っているよ！



- 家で宿題に取り組んでいるよ！
- 毎日、同じくらいの時刻に起きているよ！

- ◆資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することは得意ではないよ。
- ◆数学や理科の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか、あまり考えていないよ。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をあまりしていないよ。

(5) 小学校

①「授業改善」について

分析結果

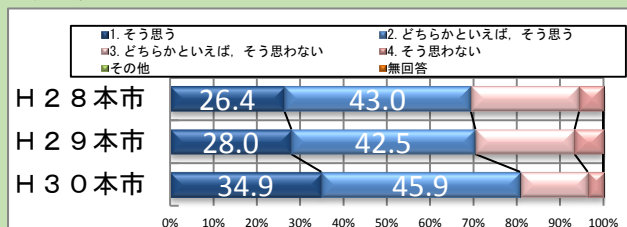
- 各教科の調査時間の適切性に関わる質問項目を除き、39質問項目中、17項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか」などの7項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、2項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか」などの4項目において、肯定的な回答が減少傾向にありました。
- 正答数の多い児童は、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」などと思っている割合が高い傾向にあります。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

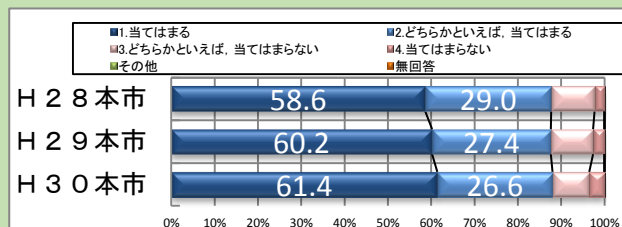
- 算数や理科の勉強は大切だと思いますか（算数：93.8%、理科：86.4%）
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（91.6%）
- 理科の授業の内容はよく分かりますか（92.2%）
- 観察や実験を行うことは好きですか（91.9%）
- 5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか。（90.8%）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



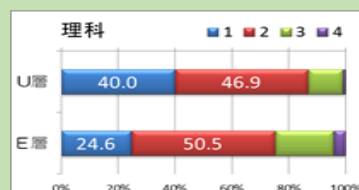
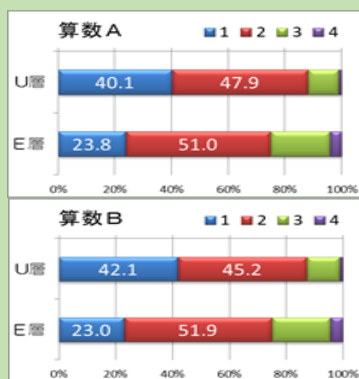
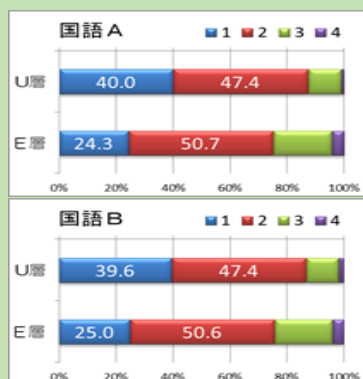
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。



正答数の多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P15へ

②「落ち着いた学習環境づくり」について

分析結果

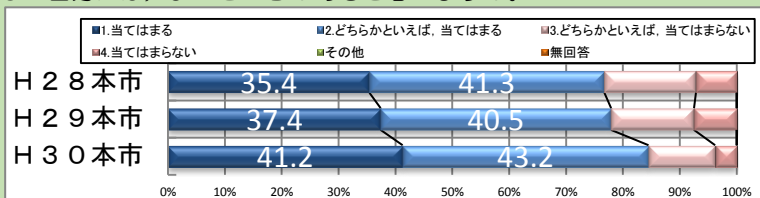
- 6質問項目中、6項目全てにおいて肯定的な回答が高い割合を示し、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 3年間の経年比較では、「自分にはよいところがあると思いますか」の1項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 学校のきまりを守っていますか（90.9％）
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.7％）
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.6％）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P25へ

③「望ましい習慣づくり」について

分析結果

- 10質問項目中（※）、4項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、1項目「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」において、肯定的な回答が低い（1日30分未満）割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、4項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、1項目「朝食を毎日食べていますか」において、肯定的な回答が減少傾向にありました。

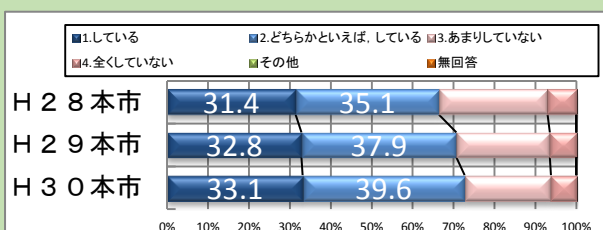
※ このカテゴリーに該当する質問項目は12項目ありますが、2項目の回答については、選択肢が「何をしてお過ごしですか」となっており、肯定的か否かという観点から整理できない質問項目となっているため、それらを除き、10質問項目としています。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

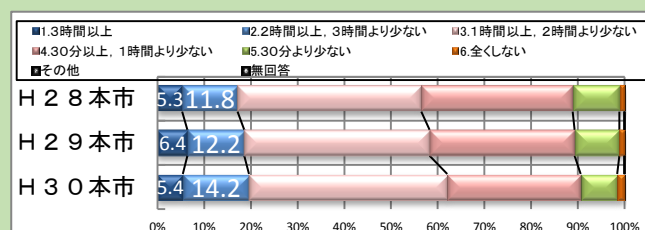
- 家で、学校の宿題をしていますか（96.1％）
- 朝食を毎日食べていますか（91.9％）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強を読みますか。（1時間以上）



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P28へ

(6) 中学校

①「授業改善」について

分析結果

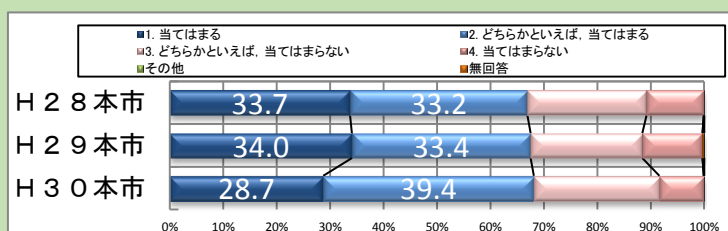
- 各教科の調査時間の適切性に関わる質問項目を除き、36質問項目中、7項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していたと思いますか」などの14項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、1項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、「数学の勉強は好きですか」、「新聞を読んでいますか」の2項目において、肯定的な回答が減少傾向にありました。
- 正答数の多い生徒は、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」などと思っている割合が高い傾向にあります。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 数学ができるようになりたいと思いますか（92.8％）
- 理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか（95.2％）※月1回以上

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

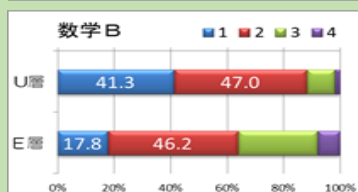
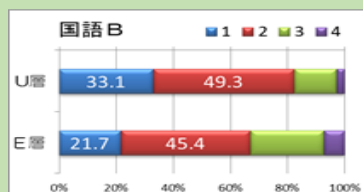
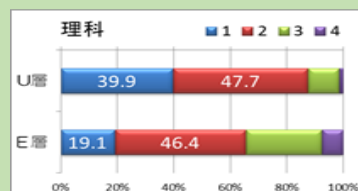
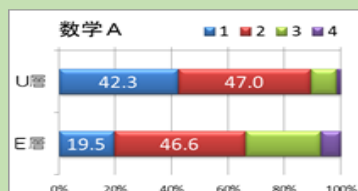
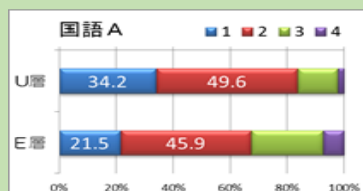
- 数学の授業の内容はよく分かりますか。



正答数の多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

- 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P35へ

②「落ち着いた学習環境づくり」について

分析結果

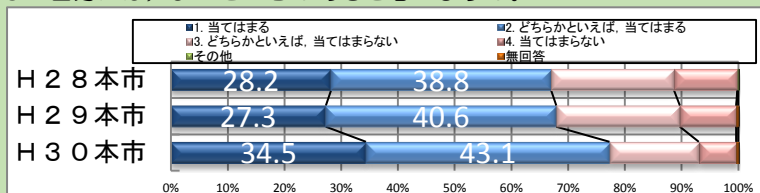
- 6質問項目中、4項目において肯定的な回答が高い割合を示し、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 3年間の経年比較では、「自分にはよいところがあると思いますか」、「学校の規則を守っていますか」の2項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、減少傾向にある項目はありませんでした。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

- 学校の規則を守っていますか（95.1％）
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（96.9％）
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.7％）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P44へ

③「望ましい習慣づくり」について

分析結果

- 10質問項目中（※），3項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」などの3項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、4項目において肯定的な回答が増加傾向にありました。一方、1項目「朝食を毎日食べていますか」において、肯定的な回答が減少傾向にありました。

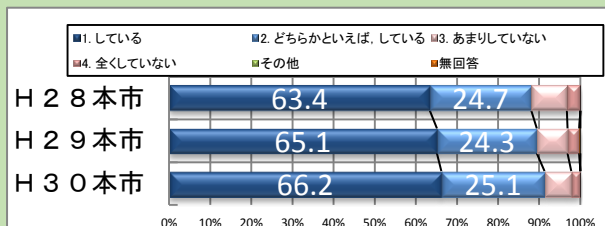
※ このカテゴリーに該当する質問項目は12項目ありますが、2項目の回答については、選択肢が「何をして過ごすか」となっており、肯定的か否かという観点から整理できない質問項目となっているため、それらを除き、10質問項目としています。

肯定的な回答が特に高い割合を示した質問項目

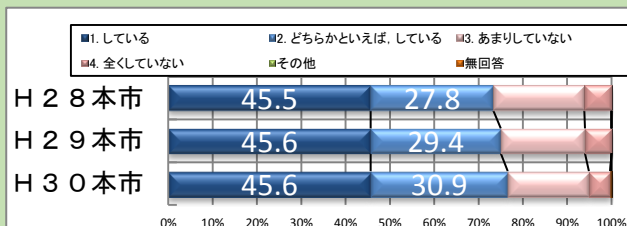
- 家で、学校の宿題をしていますか（91.3％）
- 朝食を毎日食べていますか（90.8％）
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（91.5％）

肯定的な回答が特に増加傾向にある質問項目

- 家で、学校の宿題をしていますか



- 家の人と学校での出来事について話をしますか



詳細は、「指導の改善策」学習習慣・生活習慣編 P47へ

おわりに

本報告書で示した各教科の「課題の見られた設問」や「分析結果」等に対する改善の方策については、別冊の「指導の改善策」に整理しました。指導の改善策には、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点や、9年間で身に付けさせたい力を明らかにするなどの小中連携・一貫教育の視点も加えております。

各学校においては、本報告書及び指導の改善策を踏まえ、自校の結果を分析し改善策を明らかにした上で、保護者等に説明責任を果たすとともに、児童生徒の学力向上に向けて、組織的な検証改善サイクルを確立することが大切です。

教育委員会といたしましても、各学校の取組に対し、引き続き、指導・助言や支援に努めてまいります。

なお、この度作成しました「指導の改善策」及び「旭川市学力向上学習プリント集」については、旭川市授業力向上プロジェクトの各チームに御協力いただいております。旭川市の児童生徒の実態をより踏まえた内容であると考えております。

作成に御協力いただいた旭川市授業力向上プロジェクト各チームの皆様から感謝申し上げます。

「指導の改善策」及び「旭川市学力向上学習プリント集」作成協力者

旭川市授業力向上プロジェクト

国語チーム

委員長：菅原 整（明星中校長）
副委員長：千葉 昌之（知新小教頭）
委員：石川 憲一（大有小主幹教諭）
石塚 大輔（旭川第三小教諭）
岩城 卓也（忠和中教諭）
狩集 慶一（緑が丘中教諭）
久世 隆治（北門中教諭）
渡辺 恭平（大有小教諭）

理科チーム

委員長：西分 健二（末広小校長）
副委員長：五十嵐 徹（愛宕東小教頭）
委員：成田 恵（東光小主幹教諭）
新井 崇仁（愛宕中教諭）
加藤 久貴（大有小教諭）
川村 貴弘（大有小教諭）
栄 耕平（東明中教諭）
進藤 貴史（明星中教諭）
中野 健（永山小教諭）
藤橋 真臣（永山南小教諭）
松浦 勲（西神楽中教諭）

算数・数学チーム

委員長：千葉 雅樹（春光台中校長）
副委員長：武田 要（末広小教頭）
委員：高綱 智美（明星中主幹教諭）
長瀬 剛仁（近文小主幹教諭）
萬宮 淳（愛宕小主幹教諭）
岡田 哲（緑が丘中教諭）
角地 祐輔（東陽中教諭）
櫻井 里佳（知新小教諭）
須郷 純弥（北鎮小教諭）
早川 裕章（神居東中教諭）
沼澤 和範（中央中教諭）

学習習慣・生活習慣改善チーム

委員長：佐藤 美鶴（永山西小教頭）
副委員長：中島 圭介（東栄小教頭）
委員：蝦名 伸也（永山南中主幹教諭）
太田 貴幸（忠和小主幹教諭）
齋藤 知尋（愛宕東小主幹教諭）
榊本 智史（西御料地小主幹教諭）
澁谷 朋美（神居中教諭）



（五十音順，敬称略，職名は平成30年10月現在）